

今年の正月 3 日

野口幹夫

毎年訪れてくる正月 同じようが違う。独特の 2026 年正月をそれなりに健康で過ごせたことは幸いだった。いいことも失敗もあったが貴重なので書き留めておきたい。

まず初日の出が不遇だった。毎年ラジオ体操の会場が、元旦だけは、初日の出を見る群衆に押し寄せられて、海岸から避けた場所に移ってや

っていたのが 今年はそこが工事車両でふさがれたのでできず、元旦は中止となった。やむを得ず

海岸への途中の公園で個人でラジオ体操をして、

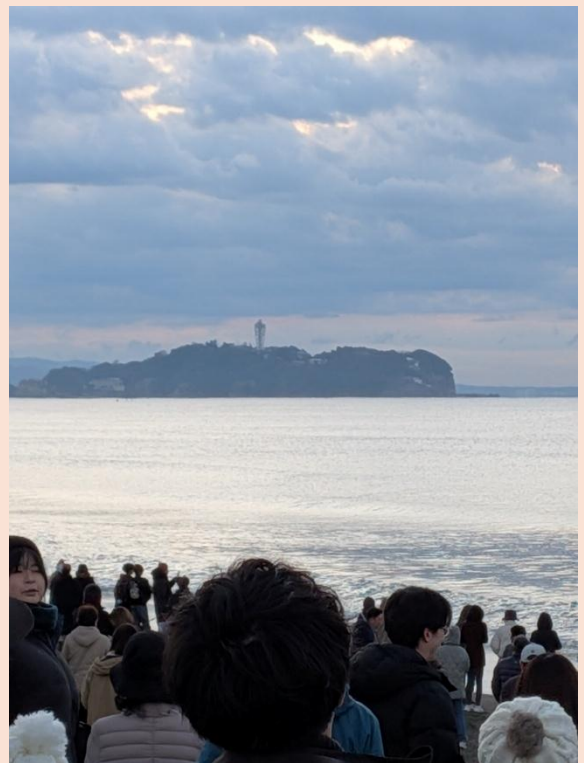
終わってから、ちょうど日の出時刻になるので海

岸に行った。(ラジオ体操にこだわるのはこれが自

分の健康の支えと思っているからだ)

毎年のごとく海岸は群衆で埋まっている。やがて

6 時 54 分江の島の頂上が赤く染まるはずだが今



年はそれもない。厚い雲に覆われてもピカリと光の線は走るのだが、今年はそれもダメだった。大群衆は 10 分後失望しながら、ぞろぞろと引き上げた。

元旦は 子供と孫たち、10 人前後で盛大にすき焼きパーティをするが、今年は孫の一人が結婚相手を連れてきてくれた、5 人の孫の中の結婚一番手であった。孫達 5 名は皆 適齢期を迎えているが、世間の風潮と同じくその兆しがみえなかったので、1 番手を開いてくれた

のでうれしかった。いい青年ですぐこの輪に溶け込んでくれた。

毎年自分は正月の和風気分を盛り上げるため、和服を着るのだが、今年はそんな重大事件があったので着物を着る発想が出なかった。毎年角帯を締める一苦労があるのだが、それからは解放された。

元旦 11 時は茅ヶ崎教会の元旦ミサがある。今年は聖堂が 10 数年ぶりに改装され、荘厳な美しさが戻った。やはり形は宗教的雰囲気が醸し出す大切な要素だと思った。



2 日と 3 日は箱根駅伝の選手応援だ。私が毎年応援に

出かけるここ浜須賀陸橋は、それまでの長い街路コースから、一転して正面に富士が見え、左が湘南海岸という平坦な景勝地への転換ポイントだ。第 2 区の権太坂、第 3 区の戸塚の壁を過ぎて、往路優勝集団が 2～3 名に絞られてくるタイミングだ。

彼らを見送って 11 時。あとはテレビで箱根の山頂踏破をテレビで見守る。今年はきわどい勝負で青山学院大学が早稲田を縫いて往路優勝し、その勢いをキープして新記録で総合優勝をした。



今年のお正月も無事終わった。あとは沢山作ったお祝箸を近くの神社の 14 日のとんど焼きにもって行って燃やし終りとなった。